

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会 3月31日 剰余金の配当 期末3月31日 中間9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	大阪市中央区伏見町三丁目6番3号(〒541-8502) 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777(通話料無料)
公告方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.dnt.co.jp/ ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	1,000株
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部(証券コード4611)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

わが家の塗りかえは ハロービューシステムまで!

塗りかえで、住まいのイメージチェンジやグレードアップを考えてみてはいかがでしょうか。

オリジナルカラーで美しく



住まいの塗りかえガイド
<http://www.nurikae-sawayaka.jp/>
ハロービュー事務局
フリーダイヤル 0120-95-8616
ハローいろ



UD FONT
見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

DNT
DAI NIPPON TORYO



第134期報告書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

大日本塗料株式会社



代表取締役社長 **岩浅 寿二郎**
い わ さ と し じ ろ う

持続的成長に向けて、 新たな高付加価値化へ挑む

Q 当期の業績をお聞かせください。

A 株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当期におけるわが国経済は、政府及び日銀による経済政策、金融緩和策を背景に穏やかな回復基調が続いているものの、中国及び新興国の景気減速や米国の政策転換等の影響から、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは中期経営計画の最終年度として、「業績目標を必達するとともに、次の3年に

繋がる企業基盤を固める期」と位置付け、取り組んでまいりました。

この結果、当期の連結業績につきましては、売上高は727億8千9百万円(前期比 4.7%減)、営業利益は65億3千3百万円(同 6億7千4百万円増)、経常利益は66億円(同 10億4千万円増)、親会社株主に帰属する当期純利益は51億9千9百万円(同 15億8千5百万円増)となり、国内市場における市況の低迷や円高の影響から売上面は苦戦したものの、これまで推進してきた高付加価値品の拡販効果に原材料安の追い風も加わり、4年連続で最高益を更新する決算となりました。

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A 中期経営計画の重点目標である「経常利益60億円及び同率7.5%」については、目標を大きく上回る

実績となり、財務体質の大幅な改善とも併せ、次の3か年に繋がる形が作れました。

当期の期末配当金につきましては、内部留保の状況及び今後の安定配当継続の必要性等を総合的に判断し、50銭増配の1株あたり4円とさせていただきます。

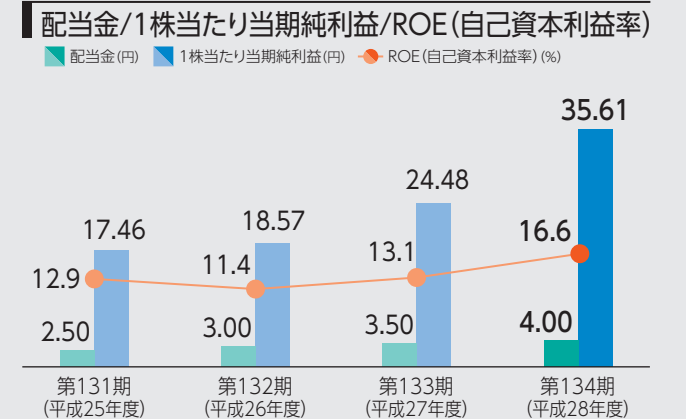
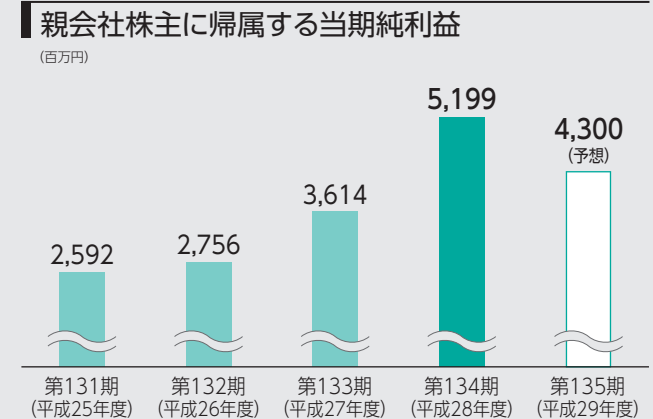
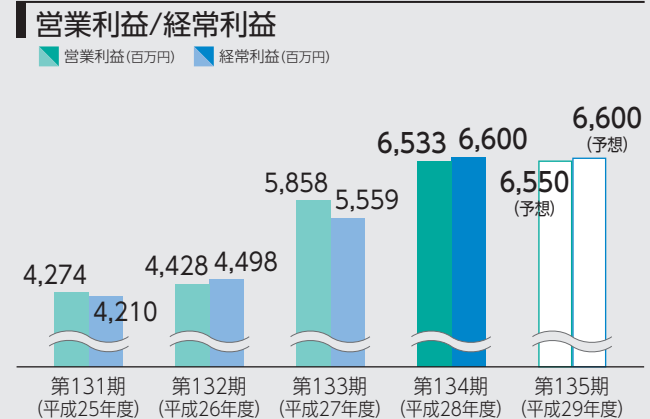
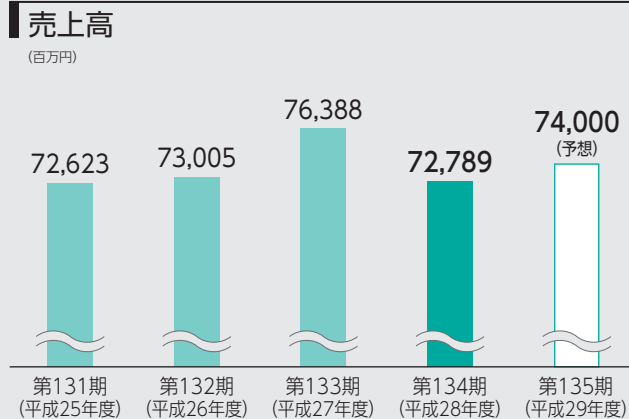
最後に、新中期経営計画の初年度にあたる今期は、前中期経営計画までに高めた財務基盤・収益力を生かし、積極投資を進めつつ、「持続的かつ収益性のある成長」を可能にする事業基盤と商品力を整備・強化する期と位置付け、新中期経営計画のもと、さらなる高付加価値化へ挑んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

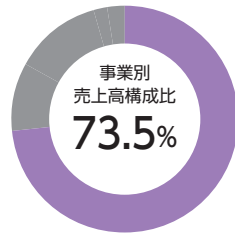
平成29年6月

財務ハイライト

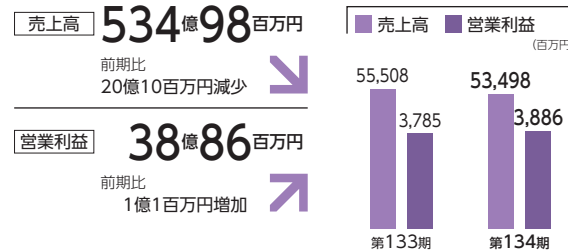
Financial Highlights



国内塗料事業



国内塗料事業では、主力の構造物分野において、拡販品目の出荷は好調を維持しましたが、市況が回復に至らず需要は低調に推移しました。建材分野においては、新設住宅着工戸数の回復を受け堅調に推移しましたが、他の工業塗料分野においても市況の低迷が続き、全体として減収となりました。一方、利益面では、高付加価値品の拡販や原材料価格の下落により増益となりました。

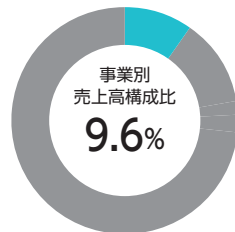


2020年東京オリンピック・パラリンピックの競技会場となる武蔵野の森総合スポーツ施設「メインアリーナ」の外装には、VOC排出削減効果と超耐候性が評価され、当社のふっ素樹脂粉体塗料「パウダーフロンCW」が採用されました。

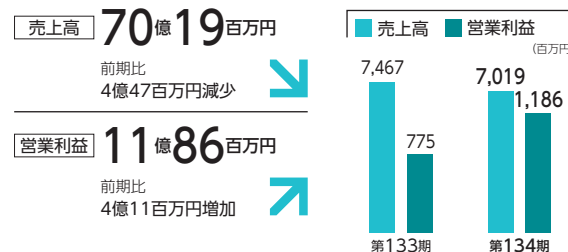


武蔵野の森総合スポーツ施設「メインアリーナ」

海外塗料事業



海外塗料事業では、北中米市場及び東南アジア市場において、自動車生産台数の増加により、海外全体の現地通貨ベースでの売上は増収となりましたが、円高による為替換算の影響を受け、減収となりました。一方、利益面では、為替換算の影響がありながらも、原材料価格の下落や高付加価値品の拡販により増益となりました。

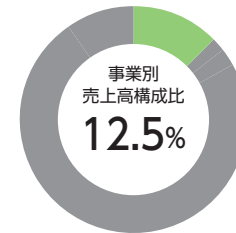


ミャンマー連邦共和国のハブ空港として交通手段の要となっている、マンダレー国際空港ターミナルビルの屋根に当社の遮熱塗料「エコクールマイルドS」が塗装されました。熱帯地域であることから屋根からのターミナル内部への日射による熱影響の軽減に当社塗料が貢献しています。今後もミャンマー国内はもとより、東南アジア地区での遮熱塗料の拡販に努めてまいります。

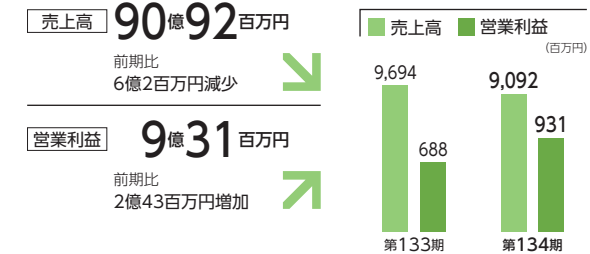


マンダレー国際空港ターミナルビル

照明機器事業



照明機器事業では、重点市場である業務用LED照明器具の需要は堅調に推移しましたが、蛍光灯関連需要の大幅な縮小を補うまでには至らず、減収となりました。一方、利益面では、製品の収益性改善が進み増益となりました。

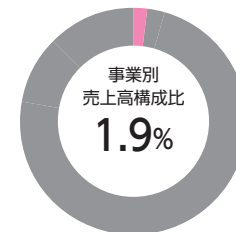


平成29年4月に情報発信基地として、当社子会社DNライティング(株)営業本部(品川)の地下1階にショールームをオープンしました。同社のLED照明の製品を通じ、お客様と共に新たな空間の可能性と魅力を引き出す提案型実験施設として活用してまいります。

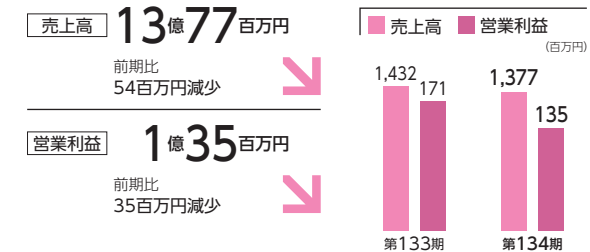


DNライティングショールーム「STUDIO E139」
Designed by IJIMA DESIGN
Lighting Designed by LIGHTDESIGN

蛍光色材事業



蛍光色材事業では、国内においては防災需要を受け安全対策用塗料が好調に推移したほか、鉄道用車輛カラーフィルムが新型車輻に採用されるなど堅調でありましたが、海外市場における衣料向け需要の縮小や円高の影響を受けたことから減収・減益となりました。

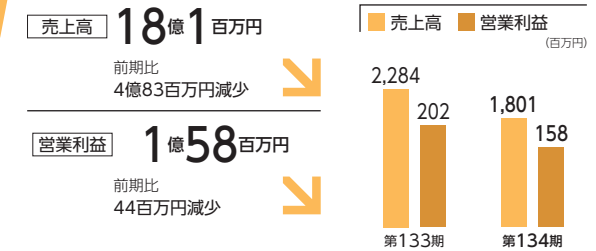
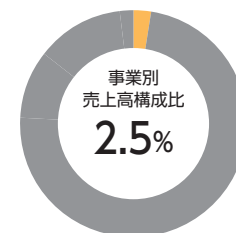


蛍光顔料(SWシリーズ)は、競合品と比べ高い安全性と色褪せが少ないのが特徴で、ファストファッションに広く利用されています。その特徴を活かしたのが、実例の無いネクタイと紙への展開です。蛍光色の紙は「ピビットフトウ」の名で紙加工メーカーより発売されており、良く目立つカラーを活かして大切なお知らせなどの用途で使用されています。



蛍光ネクタイと蛍光封筒

その他事業



当社は、2014年度から2016年度までの前中期経営計画期間において、国内塗料事業の高付加価値化、海外塗料事業の積極拡大、新たな収益源事業の育成・強化を三本柱とする経営方針のもと、更なる収益力とグローバル展開力を持つ企業へのステップアップを目指し、コスト競争力の強化や新たなビジネスモデルの構築に取り組んでまいりました。

これら取り組みを継続発展させ、競争が激化していく経営環境に対応すべく、このたび、2017年度から2019年度までの3カ年を対象とする新たな中期経営計画を策定いたしました。

テーマ 持続的成長に向けて、新たな高付加価値化へ挑む

重点施策

①2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に伴う

国内インフラ市場における新設、メンテナンス需要の確実な取り込み

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に伴う首都圏再開発需要に対して、競争力のある高付加価値品の拡販を強化するとともに、当社が強みを持つ重防食技術をインフラ管理に活用し、オリンピック以後を見据えた事業モデルを確立する。

②当社の強みを生かした新規市場開拓の推進

重防食技術やインジェット技術等の当社が強みをもつ分野において、お客様が抱える課題に対し当社独自の解決提案を行うことで、新規顧客の開拓や新規需要の創出に注力する。

③国内塗料事業の更なる強化

前中期経営計画期間で推進した高付加価値品の販売拡大に加え、製品別に販売戦略の見直しを行う。また、引き続き生産体制の適正化を進めることで、国内塗料事業の収益性改善を図る。

④海外塗料事業の継続的・積極的拡大

成長市場である海外市場においては、強みをもつ分野や地域に集中・特化し、シェアアップや新規顧客の獲得に努めていく。また重防食塗料の海外展開についても継続的に実行し、海外においても「重防食のDNT」ブランドの定着を図る。

連結業績目標

	2017年3月期(実績)	2020年3月期(目標)	増減
売上高	72,789百万円	80,000百万円	7,211百万円増
営業利益	6,533百万円	8,000百万円	1,467百万円増
営業利益率	9.0%	10.0%	1.0% 増

「神戸国際交流会館」の外壁塗り替えに、業界初となるローラー塗装形メタリック塗料が採用

本年3月に外壁の塗り替えが完了した「神戸国際交流会館」に、金属製カーテンウォール改修向けに当社が開発した新製品「Vフロン#200スマイルRB シルバーメタリック」が採用されました。

従来、メタリック塗装は、塗料中に含まれている板状の小さなアルミニウム顔料を均一（並行）に並べるためにスプレー塗装が不可避である上、高度な塗装技術が必要でした。また、建物の壁面をスプレー塗装する際、塗料が周囲に飛散することを防止するために大掛かりな養生を施す必要があるなど課題が多いため、これまで現地でのスプレー塗装による大規模な改修ができませんでした。

今回当社が開発した同塗料は、スプレー塗装よりも簡易なローラー塗装を可能にしたもので大掛かりな養生を施す必要がなく、かつスプレー塗装と同様のメタリック外観を実現可能とした業界初となる画期的な塗料で、特許も取得済みです。これにより、現地でのメタリック塗料による大規模改修工事を行うことができるようになりました。

神戸国際交流会館は昭和56年の竣工以来、コンベンション機能とオフィス機能を兼ね備えた国際都市神戸を代表する建物です。この度の改修工事で、当社の塗料が新設時を超える高輝度を実現し、美しい外観に仕上げております。

今後は神戸国際交流会館のように、建築後30年を超える金属製カーテンウォールの改修需要が都市部を中心に伸びるものと期待しており、当社も同塗料の拡販に努めてまいります。

▶神戸国際交流会館



相模鉄道「9000系リニューアル車両」にDNT車両用塗料が採用

神奈川の東部を基盤とする大手私鉄会社である相模鉄道の「9000系リニューアル車両」の外板塗装に、当社の「Vトップ車輛用ゴールド」・「Vフロン#800車輛用クリヤー」が採用されました。

新しい外板色は、横浜の歴史をイメージした深みのあるシックな濃紺色「ヨコハマネイビーブルー」です。既存車両の外観が美しく生まれ変わったことや、座席や照明を整備したことが評価され、2016年度のグッドデザイン賞を受賞されました。



相模鉄道「9000系リニューアル車両」

単元株式数の変更・株式併合についてのご案内

当社は、平成29年10月1日をもって、

- ・単元株式数を1,000株から100株に変更いたします。(単元株式数の変更)
- ・当社の普通株式5株を1株の割合で併合いたします。(株式併合)

▶ 所有株式数について

株主の皆様の株式併合後の所有株式数は、平成29年9月30日の最終の株主名簿に記録された所有株式数に5分の1を乗じた株式数(1株に満たない端数がある場合はこれを切り捨て)となります。

▶ 株式併合による影響について

株式併合により株主の皆様の所有株式数は5分の1となりますが、株式併合の前後で会社の資産や資本の状況は変わりませんので、株式1株当たりの資産価値は5倍となり、株式市況の変動等他の要因を別にすれば、株式併合によって株主様が所有される当社株式の資産価値に影響が生じることはありません。

なお、株式併合後の株価につきましても、理論上は株式併合前の5倍となります。

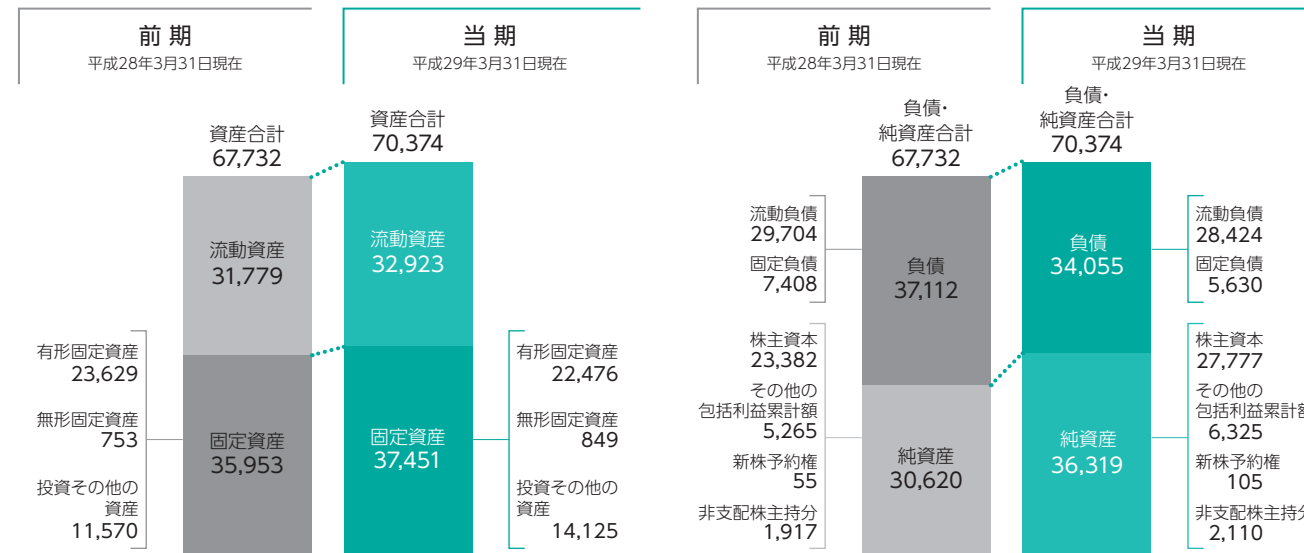
▶ 株式併合による配当金への影響について

株式併合により株主の皆様の所有株式数は5分の1となりますが、株式併合の効力発生後においては、併合割合を勘案して1株当たりの配当金を設定させていただく予定ですので、業績変動等他の要因を別にすれば、株式併合によって株主の皆様の受取配当金の総額に影響はありません。

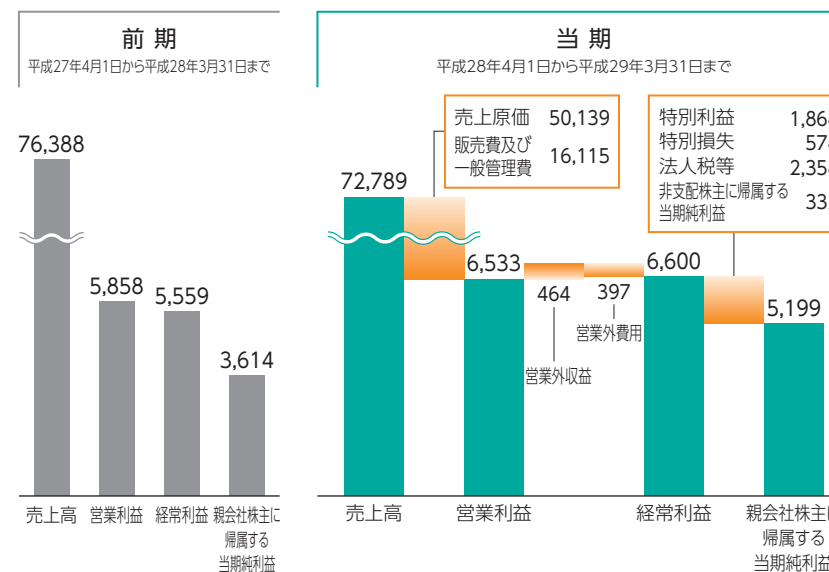
ただし、株式併合により生じた1株に満たない端数につきましては、当該1株に満たない端数に係る配当金は生じません。

連結財務諸表

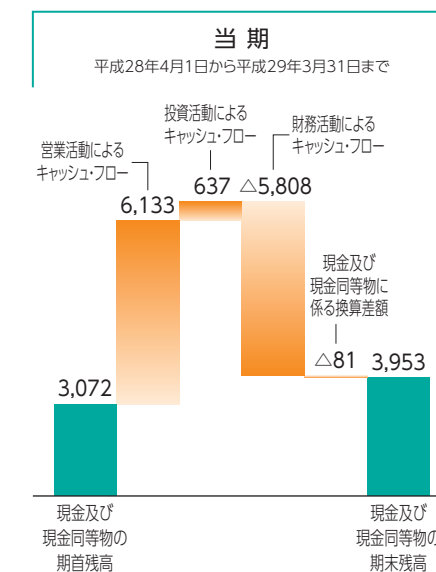
連結貸借対照表(要旨) (百万円)



連結損益計算書(要旨) (百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (百万円)



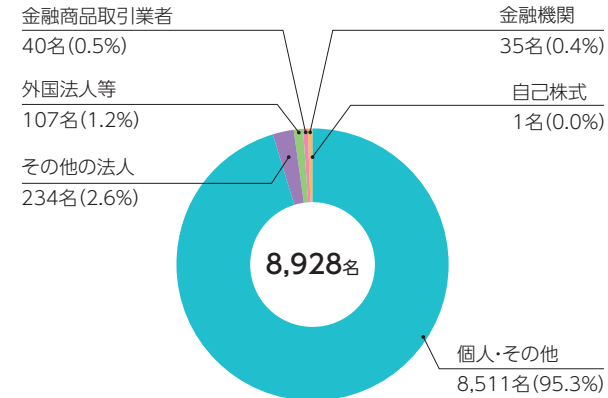
発行可能株式総数 466,406,000株
 発行済株式の総数 148,553,393株
 株主数 8,928名

大株主(上位10名)

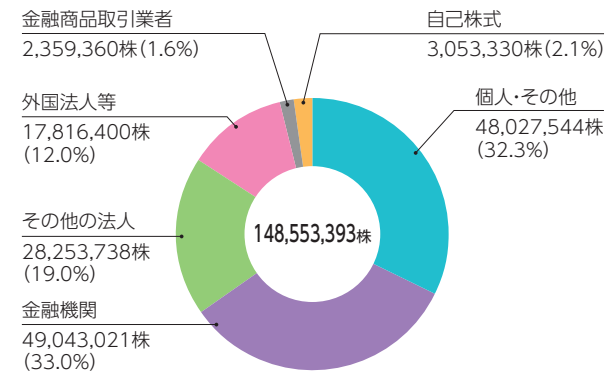
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
明治安田生命保険相互会社	7,000	4.8
株式会社三菱東京UFJ銀行	6,141	4.2
DNT取引関係持株会	6,102	4.1
三菱商事株式会社	5,942	4.0
東京海上日動火災保険株式会社	5,068	3.4
富国生命保険相互会社	5,002	3.4
株式会社島津製作所	5,001	3.4
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,899	3.3
田邊康秀	4,441	3.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,112	2.8

(注)持株比率は自己株式(3,053,330株)を控除して計算しております。

所有者別株主分布状況



所有者別株式分布状況



商号 大日本塗料株式会社
 Dai Nippon Toryo Company, Limited
 本社 〒554-0012 大阪市此花区西九条6-1-124
 ホームページ URL:http://www.dnt.co.jp/
 設立 昭和4年(1929年)7月25日
 資本金 8,827百万円
 従業員数 2,183名(単体:661名)
 主要な事業内容 塗料・ジェットインクの製造、販売
 各種塗装機器装置の販売、塗装工事等

主要な事業所

大日本塗料株式会社

本社(大阪)、東京営業本部(東京)
 那須工場(栃木)、小牧工場(愛知)
 東京、名古屋、大阪 他16営業所

子会社及び関連会社

- 国内塗料**
 大日本塗料北海道(北海道)、日塗化学(東京)
 千葉化工(千葉)、日東三和塗料(滋賀)
 サンデーペイント(大阪)、DNTサービス(大阪)
 ジャパンパウダー塗料製造(大阪)、岡山化工(岡山)
 DNT山陽ケミカル(広島)、ビーオーケミカル(福岡)
- 海外塗料**
 Thai DNT Paint Mfg.Co.,Ltd.(タイ)
 DNT Singapore Pte.,Ltd.(シンガポール)
 DNT Paint(Malaysia) Sdn.Bhd.(マレーシア)
 PT. DNT INDONESIA(インドネシア)
 Lilama3-Dai Nippon Toryo Co.,Ltd.(ベトナム)
 迪恩特塗料(上海)有限公司(中国)
 DAI NIPPON TORYO MEXICANA, S.A. de C.V.(メキシコ)
 DNT KANSAI MEXICANA S.A. de C.V.(メキシコ)
- 照明機器**
 DNライティング(神奈川)、ニッポ電工(秋田)
- 蛍光色材**
 シンロイビ(神奈川)
- その他**
 日塗エンジニアリング(神奈川)、ニットサービス(大阪)

役員 (平成29年6月29日現在)

代表取締役社長	岩 浅 壽二郎
取締役専務執行役員	瀬 古 宜 範
取締役常務執行役員	里 隆 幸
取締役常務執行役員	木 村 直 之
取締役執行役員	野 田 秀 吉
取締役執行役員	山 本 基 弘
取締役(社外取締役)	岩 田 哲 夫
取締役(社外取締役)	灰 崎 恭 一

執行役員	須 川 哲 夫
執行役員	小 林 正 樹
執行役員	高 松 厚
執行役員	梶 田 宏 行
執行役員	加 藤 靖 之
執行役員	永 野 達 彦

常勤監査役(社外監査役)	福 岡 靖 之
常勤監査役	室 内 聖 人
監査役(社外監査役)	藤 井 浩 之